

4 B問題(活用)に対応するための練習問題

()年()組()番 名前()

1 さとるさんは、四角形について学習した。次の問いに答えなさい。

(1) 四角形は、次の場合に平行四辺形になる。()にあてはまる言葉を、下の【語群】から1つずつ選び、書き入れなさい。

- ① 2組の向かい合う辺が、それぞれ平行であるとき(定義)
- ② 2組の向かい合う辺が、それぞれ(等しい)とき
- ③ 2組の向かい合う(角)がそれぞれ等しいとき
- ④ (対角線)が、それぞれの(中点)で交わる時
- ⑤ (1組)の向かい合う辺が、等しくて(平行)であるとき

【語群】

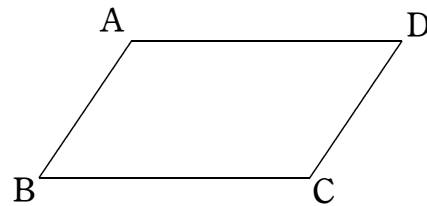
| | | | | |
|-----|----|-----|----|-----|
| 中心 | 中点 | 対角線 | 角 | 対頂角 |
| 等しい | 平行 | 垂直 | 1組 | 3組 |

(2) さとるさんは、長方形、ひし形、正方形の対角線に注目して、次のようにまとめた。このとき、()に適切な図形の名称を書き入れなさい。

- ① (正方形)の対角線は、長さが等しく、垂直に交わる。
- ② (長方形)の対角線は、長さが等しい。
- ③ (ひし形)の対角線は、垂直に交わる。

(3) □ABCDに次の条件を加えると、それぞれどんな図形になるか答えなさい。ただし、対角線の交点をOとする。

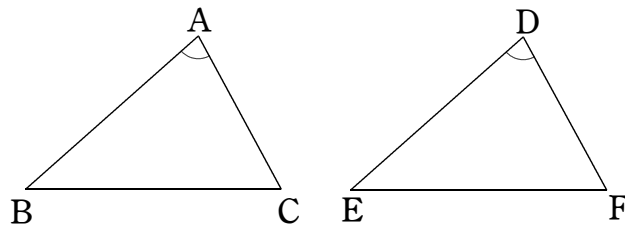
- ① $\angle B = 90^\circ$ 答え 長方形
- ② $AC = BD$ 答え 長方形
- ③ $AC \perp BD$ 、 $AO = BO$ 答え 正方形



実際に図に辺や角度を
かいて確かめてみよう!



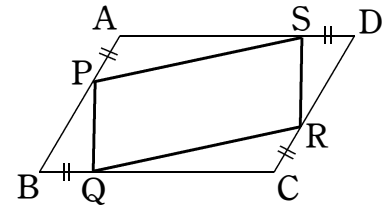
2 次の図の△ABCと△DEFにおいて、 $\angle A = \angle D$ であることはわかっている。このほかにどのようなことがわかれば、 $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ といえるか。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。また、そのときの合同条件を答えなさい。



- ア $AB = DE$ 、 $BC = EF$ イ $AB = DE$ 、 $\angle ABC = \angle DEF$
- ウ $AC = DF$ 、 $BC = EF$ エ $\angle ABC = \angle DEF$ 、 $\angle ACB = \angle DFE$

答え 記号 イ 合同条件 1組の辺とその両端の角 が、それぞれ等しい。

3 右のような $AD > AB$ である□ABCDがある。それぞれの辺上に、 $AP = BQ = CR = DS$ となる点P、点Q、点R、点Sをとる。このとき、次の問いに答えなさい。



(1) ひかりさんは、四角形PQRSが平行四辺形であることを証明するために、「2組の向かい合う辺が、それぞれ等しい」ことを示した。次の()内には、証明の前半部分がかかれている。

()にあてはまるものを書き入れて、証明の前半部分を完成させなさい。

△APSと△CRQで、
仮定より $AP = (CR) \dots \textcircled{1}$
平行四辺形の2組の向かい合う角は等しいので、 $\angle PAS = \angle (RCQ) \dots \textcircled{2}$
ここで、平行四辺形の2組の向かい合う辺は等しいので、 $(AD) = CB$
また、仮定より $DS = BQ$ だから、 $AD - DS = (CB) - BQ$
よって、 $AS = CQ \dots \textcircled{3}$

①、②、③より、(2組の辺とその間の角)が、それぞれ等しいので、
 $\triangle APS \cong \triangle CRQ$
合同な図形では、対応する辺は等しいので、 $PS = RQ$

(2) ひかりさんは、同様に $PQ = RS$ を証明することにした。このとき、用いる2つの三角形はどれとどれにすればよいか答えなさい。

答え △PBQ と △RDS

(3) ひかりさんは、右のように□ABCDの条件を増やすと、四角形PQRSがどのような形になるか考えてみることにした。このとき、次の問いに答えなさい。

増やす条件

(条件1)
 $\angle A = 90^\circ$

(条件2)

点P、点Q、点R、点Sは、AB、BC、CD、DAの中点とする。

① (条件1)より、□ABCDは、どのような形になるか、下の()から選び、記号で答えなさい。

また、【理由】の()にあてはまる数や言葉を書き入れなさい。

答え 記号 ウ

【理由】

平行四辺形の向かい合う角の大きさは等しいので、 $\angle A = \angle (C) = 90^\circ$ です。
また、四角形の内角の和は(360)°だから、残った180°を(2)で割ると、 $\angle B = \angle D = (90)^\circ$ です。
ここで、 $AD > AB$ だから、選ぶ図形は(長方形)です。

② (条件1)に(条件2)を加えてできる四角形PQRSはどのような形になるか。

次の()から選び、記号で答えなさい。

答え イ

ア 正方形 イ ひし形 ウ 長方形 エ 直角三角形

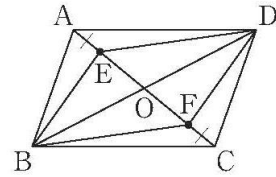
4 B 問題 (No.1)

()年()組()番 名前()

4 優花さんは、次の問題を解きました。

問題

右の図のように、平行四辺形 ABCD の対角線の交点を O とし、線分 OA, OC 上に、 $AE = CF$ となる点 E, F をそれぞれとります。



このとき、四角形 EBF D は平行四辺形になることを証明しなさい。

優花さんの証明

平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるから、

$$OB = OD \quad \dots\dots ①$$

$$OA = OC \quad \dots\dots ②$$

仮定より、

$$AE = CF \quad \dots\dots ③$$

②, ③より、

$$OA - AE = OC - CF \quad \dots\dots ④$$

④より、

$$OE = OF \quad \dots\dots ⑤$$

①, ⑤より、

対角線がそれぞれの中点で交わるから、四角形 EBF D は平行四辺形である。

練習問題の 1
2
と関連があるよ!



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 優花さんの証明では、四角形 EBF D の対角線がそれぞれの中点で交わることから、四角形 EBF D は平行四辺形であることを証明しました。四角形 EBF D が平行四辺形であることから新たにわかることを、下のアからエまでの中から 1 つ選びなさい。

ア $EB = FD$

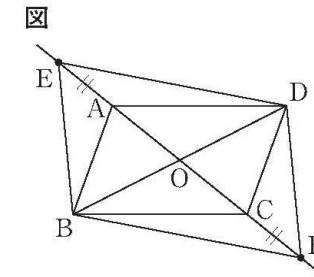
イ $ED = EF$

ウ $OE = OF$

エ $AE = CF$

答え ア

(2) 右の図のように、平行四辺形 ABCD の対角線の交点を O とし、線分 OA, OC を延長した直線上に $AE = CF$ となる点 E, F をそれぞれとります。優花さんは、このときも四角形 EBF D は平行四辺形になると予想しました。



図において四角形 EBF D が平行四辺形になることは、前ページの優花さんの証明の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでの中から 1 つ選び、正しく書き直しなさい。

ア

平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるから、

$$OB = OD \quad \dots\dots ①$$

$$OA = OC \quad \dots\dots ②$$

イ

仮定より、

$$AE = CF \quad \dots\dots ③$$

ウ

②, ③より、

$$OA - AE = OC - CF \quad \dots\dots ④$$

エ

④より、

$$OE = OF \quad \dots\dots ⑤$$

オ

①, ⑤より、

対角線がそれぞれの中点で交わるから、四角形 EBF D は平行四辺形である。

答え 選んだ記号 (**ウ**)

正しく書き直したもの

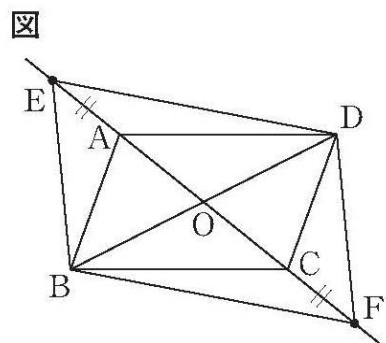
(例) $②, ③$ より、 $OA + AE = OC + CF \dots\dots ④$



練習問題の 3
と関連があるよ!

(3) 前ページの問題では、優花さんの証明から「四角形ABCDが平行四辺形ならば、四角形EBFDは平行四辺形である。」ことがわかりました。

問題の平行四辺形ABCDを正方形に変えると、四角形EBFDは平行四辺形の特別な形になります。四角形ABCDが正方形ならば、四角形EBFDはどんな四角形になりますか。「～ならば、……になる。」という形で書きなさい。



答え (例) 四角形 ABCD が正方形ならば、四角形 EBFD はひし形になる。



練習問題の 1
3
と関連があるよ!

※平均正答率

| | (1) | (2) | (3) |
|----|------|------|------|
| 全国 | 55.4 | 42.4 | 42.3 |
| 私 | | | |

正解した問題には、私の欄にらん
O印をしましょう。